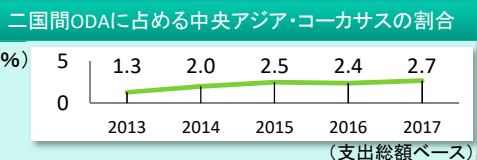


## 1. 日本にとっての支援の意義

- ◎ユーラシア地域の安定の要  
ロシア・中国・イラン・アフガニスタン等に  
囲まれる重要な位置
- ◎経済・社会インフラ輸出の潜在的市場  
旧ソ連時代のインフラの更新の必要性
- ◎豊富なエネルギー・鉱物資源(資源供給元の多角化)



対中央アジア・コーカサス支援累計額(～2017年)

円借款	約5,743億円
無償資金協力	約1,266億円
技術協力	約684億円

(※)技術協力は2017年よりJICA実施分を計上

## 2. 実績と成果

### 支援の主要な柱

#### ★老朽化した旧ソ連時代の**経済インフラ再構築**

(1993～2019年度、約7,622億円の円借款供与。円借款によるインフラ整備支援の8割以上をエネルギー・運輸インフラが占める)

#### ★行政官・民間セクターの**人材育成**

(2000年～2019年度まで617名の行政官を留学生として受入れ。その他、民間セクターでの研修受入れ多数)

#### ★**地域内協力**の促進

(国境管理、テロ・麻薬対策、防災、運輸物流、農業、観光、保健などの分野で実践的協力)

### 「開かれ、安定し、自立した」発展への貢献

#### ★**市場経済化**の定着、堅調な**経済発展** → **地域の安定**

WTO加盟国:キルギス、タジキスタン、カザフスタン、アルメニア、ジョージア  
WTO加盟作業中:ウズベキスタン、アゼルバイジャン

#### ★**国民生活**の改善 → **SDGs**への貢献

持続可能な開発目標(SDGs):2030年までに達成可能な目標(貧困・飢餓削減、福祉の促進、質の高い教育の確保、近代的エネルギーへのアクセス確保など)

### 日本にとっての成果

#### ★**インフラ輸出**

(例)ウズベキスタンのナボイ火力発電所(2013年度円借款)に日本製タービン導入。電力セクター・プロジェクト・ローンでスベアパーツ等も供与(2014年度円借款)

#### ★**親日感情**の醸成

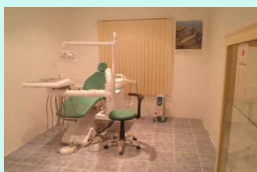
東日本大震災に際しての各国からの支援、日本語教育の普及、人材育成奨学計画で日本に留学した帰国生が、閣僚級を含め各国のリーダーとして活躍



主要幹線道路上の橋梁の掛替えを支援(キルギス)



医療機材の管理・保守を支援(ウズベキスタン、タジキスタン、ジョージア、アゼルバイジャン等)



地方の診療所整備を支援(アゼルバイジャン)



ナボイ火力発電所(ウズベキスタン)

## 中央アジア・コーカサス諸国へのODAの特徴(国別)



## 3. 課題の克服

### 質の高いインフラ整備

- ★経済・社会インフラの再構築
- ★域内連結性の強化

(主な取組)

- ジョージア 東西ハイウェイ整備計画
- キルギス 国際幹線道路改善計画



東西ハイウェイ整備計画で整備した区間

### 人材育成

- ★市場経済化に適応可能な人材の不足
- ★ガバナンスの向上の必要性

(主な取組)

- 日本人材開発センター、人材育成奨学計画を通じたネットワークの活用



100万人目の来場者を達成したウズベキスタン日本人材開発センター

### 産業の多角化

- ★資源依存からの脱却
- ★域内連結性の強化
- ★雇用の促進

(主な取組)

- 「中央アジア+日本」対話の枠内でのビジネス対話を通じたビジネス振興、ネットワーク形成
- 官民インフラ会議
- 行政手続法等の法制度整備支援
- キルギス一村一品プロジェクト



「中央アジア+日本」対話第7回外相会合

### 地域の安定化

- ★イスラム過激派の脅威の拡大
- ★脆弱な国境管理、麻薬対策

(主な取組)

- 中央アジアにおける暴力的過激主義防止のためのコミュニティ強靱化及び域内協力促進計画(UNDP連携)
- 薬物・犯罪に対する国境連絡事務所設置及び越境協力強化計画(UNODC連携)



国境警備隊の共同公開演習

©UNODC